

【交通圏】	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)				
	運営主体	運行事業者	系統名	運行区間			【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)						収支率(%)			
								R2計画	R2実績	(平均乗車密)	(運行回数)			R1実績	R2実績		
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	44-1 岡崎・西尾	東岡崎～西尾	藤田医大岡崎医療センター開業に合わせてダイヤ改正を行い、利用実態に沿うとともに新たなニーズの取り込みに努めた。沿線の岡崎市ではイベント等で近隣市町のバスマップを配布し周知を行ったほか、西尾市では高齢者向け公共交通出前講座の開催、通学定期補助や、市内の均一運賃化を行った。	A	補助対象期間の開始日から運休はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B	目標：176,994 実績：107,924(61.0%) ※前年度比60.4% 2系統合算前年度比68.0%	73.4 44.1	63.3 33.2	4.4 3.5	14.4 9.5	77.8	72.6 47.1	市を跨ぐ利用者は、月平均1,978人で全体の20%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。岡崎市から西尾市への通勤・通学等の交通手段として利用されているほか、西尾市から岡崎市への通勤・通学利用としても使われている。《地域的・フィーダー的系統》名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、平坂・中畑線)、(西尾市)六万石くるりんバス、(西尾市)いこまいかー	藤田医大系統を新設したが、その動向をみつつ、改善余地がないか検討する。また、岡崎市では、デマンド型折り合いタクシーとの乗継利便性や感染対策等の安全性の周知など、西尾市では、増加傾向にある外国籍住民を対象にした多言語対応のパンフレット配布などを行う。
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	44-2 岡崎・西尾(藤田医科大学岡崎医療センター)	藤田医科大学岡崎利用センター～西尾	藤田医大岡崎医療センター開業に合わせてダイヤ改正を行い、利用実態に沿うとともに新たなニーズの取り込みに努めた。沿線の岡崎市ではイベント等で近隣市町のバスマップを配布し周知を行ったほか、西尾市では高齢者向け公共交通出前講座の開催、通学定期補助や、市内の均一運賃化を行った。	A	補助対象期間の開始日から運休はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	—	目標：— 実績：13,603 2系統合算前年度比68.0%	30.3	17.5	2.7	6.5	—	37.6	市を跨ぐ利用者は、月平均1,978人で全体の20%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。岡崎市から藤田医療センターや西尾市への通勤・通学・通院等の交通手段として利用されているほか、西尾市から岡崎市への通勤・通学利用としても使われている。《地域的・フィーダー的系統》名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、平坂・中畑線)、(西尾市)六万石くるりんバス、(西尾市)いこまいかー	藤田医大系統を新設したが、その動向をみつつ、改善余地がないか検討する。また、岡崎市では、デマンド型折り合いタクシーとの乗継利便性や感染対策等の安全性の周知など、西尾市では、増加傾向にある外国籍住民を対象にした多言語対応のパンフレット配布などを行う。
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	45-1 岡崎・西尾(西尾市民病院)	岡崎駅西口～若松町～西尾	藤田医大岡崎医療センター開業に合わせてダイヤ改正を行い、利用実態に沿うとともに新たなニーズの取り込みに努めた沿線の岡崎市ではイベント等で近隣市町のバスマップを配布し周知を行ったほか、西尾市では高齢者向け公共交通出前講座の開催や、通学定期補助を行い、バスの利便性向上に努めた。	A	補助対象期間の開始日から運休はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B	目標：69,216 実績：43,063(62.2%) ※前年度比64.3% 2系統合算前年度比81.8%	33.6 14.4	33.6 14.0	3.5 3.5	9.6 4.0	69.0	64.4 56.3	市を跨ぐ利用者は、月平均1,199人で全体の約26%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。JR岡崎駅と西尾市中心部を結ぶ市域を跨ぐ路線であり、沿線には西尾市民病院、西尾東高校があり通院、通学の足として地域住民の移動手段を確保している。《地域的・フィーダー的系統》名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、平坂・中畑線)、(西尾市)六万石くるりんバス、(西尾市)いこまいかー	藤田医大系統を新設したが、その動向をみつつ、改善余地がないか検討する。また、岡崎市では、デマンド型折り合いタクシーとの乗継利便性や感染対策等の安全性の周知など、西尾市では、増加傾向にある外国籍住民を対象にした多言語対応のパンフレット配布などを行う。
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	45-2 岡崎・西尾(西尾市民病院)	岡崎駅西口～藤田医大岡崎医療センター～西尾	藤田医大岡崎医療センター開業に合わせてダイヤ改正を行い、利用実態に沿うとともに新たなニーズの取り込みに努めた沿線の岡崎市ではイベント等で近隣市町のバスマップを配布し周知を行ったほか、西尾市では高齢者向け公共交通出前講座の開催や、通学定期補助を行い、バスの利便性向上に努めた。	A	補助対象期間の開始日から運休はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	—	目標：— 実績：11,723 2系統合算前年度比81.8%	27.3	16.7	2.3	7.3	—	36.6	市を跨ぐ利用者は、月平均1,199人で全体の約26%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。JR岡崎駅と西尾市中心部を結ぶ市域を跨ぐ路線であり、沿線には西尾市民病院、西尾東高校があり通院、通学の足として地域住民の移動手段を確保している。《地域的・フィーダー的系統》名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、平坂・中畑線)、(西尾市)六万石くるりんバス、(西尾市)いこまいかー	藤田医大系統を新設したが、その動向をみつつ、改善余地がないか検討する。また、岡崎市では、デマンド型折り合いタクシーとの乗継利便性や感染対策等の安全性の周知など、西尾市では、増加傾向にある外国籍住民を対象にした多言語対応のパンフレット配布などを行う。
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	安城市	東伸運輸(株)	61 あんくるバス(東部線)	北部福祉センター～北部福祉センター	利用促進のためのチラシ等を配布する際に、おすすめプランを掲載するなど、できるだけ分かりやすく気軽にバスを使ってもらえるように情報提供を行った。また、Googleマップの経路検索に対応し、利便性向上を図った。	A	台風19号による暴風雨のため8便が運休となったが、それ以外は運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B	目標：11,000 実績：26,025(84.0%) ※前年度比74.4%	28.9	26.9	3.9	6.9	11.1	8.3	市を跨ぐ利用者は184人/月と想定され、広域的な路線として役割を果たしていると考えられる。また、鉄道駅への乗換利用や、通勤、飲食・娯楽等のためお出掛け利用者が多いと考えられる。《地域的・フィーダー的系統》名鉄バス安城線、あんくるバス(北部線、循環線、安祥線)	本町のバス利用状況(遅れ等)の把握や乗降調査による交通需要の把握を行う。また、公共交通に関する知識の向上や利用に対する意識の醸成に向け、モビリティ・マネジメントのための資料を作成し、乗り方教室等の利用促進策を講じる。隣接する岡崎市では公共交通マップの作成・配布や感染対策等の安全性の周知を図る。

【交通圏】

①補助対象事業者等	②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)		
					【計画目標指標：利用者数】		輸送量(人)		収支率(%)					
	運営主体	運行事業者			系統名	運行区間	A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	R2計画	R2実績	(平均乗車密)			(運行回数)	R1実績
09刈谷・安城・碧南・西尾	知立市	名鉄バス(株)	23 ミニバス(3コース) 知立駅～東刈谷駅～知立駅	広報やHP等にイベント案内にミニバス利用についての文面を明記した。感染症対策として、バス車内に感染症防止ポスター等を周知した。	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画通りの運行が実施された。	B 目標：73,032 実績：61,625(84.4%) ※前年度比85.4%	63.6	55.1	5.2	10.6	26.4	19.8	東刈谷駅北口バス停からの利用者数は、797人/月と推定される。刈谷市東部の住民が、名鉄知立駅、秋田病院への通院、買い物等で利用することが多い。 《地域的・フィーダー的系統》 刈谷市公共施設連絡バス(依佐美線、東刈谷線)、(安城市)あんくるバス(西部線、作野線)、(豊田市)高岡ふれあいバス	広報、ホームページ等による利用促進、特に新型コロナウイルス感染症防止ポスター等の周知を徹底し、利用者が安心して乗車できるよう努める。
09刈谷・安城・碧南・西尾	知立市	名鉄バス(株)	24 ミニバス(4コース) 知立駅～野田新町駅～知立駅 【公有民営方式車両購入費国庫補助金の交付対象】(1台)	広報やHP等にイベント案内にミニバス利用についての文面を明記した。感染症対策として、バス車内に感染症防止ポスター等を周知した。	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅延はなく、所定の事業計画通りの運行が実施された。	B 目標：38,093 実績：29,097(76.4%) ※前年度比75.5%	25.9	20.5	2.1	9.8	9.8	7.6	野田新町駅北口バス停からの利用者数は、261人/月と推定され、刈谷市から名鉄知立駅、秋田病院への通院、買い物等で利用することが多い。 《地域的・フィーダー的系統》 刈谷市公共施設連絡バス(依佐美線、東刈谷線)、(豊田市)高岡ふれあいバス	広報、ホームページ等による利用促進、特に新型コロナウイルス感染症防止ポスター等の周知を徹底し、利用者が安心して乗車でき、利便性が向上する運行に努める。
09刈谷・安城・碧南・西尾	安城市	名鉄バス(株)	21 あんくるバス(作野線) 新安城駅～新安城駅	利用促進のためのチラシ等を配布する際に、おすすめプランを掲載するなど、できるだけ分かりやすく気軽にバスを使ってもらえるように情報提供を行った。また、Googleマップの経路検索に対応し、利便性の向上を図った。	A 台風19号による暴風雨のため4便が運休となったが、それ以外は運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B 目標：59,000 実績：50,417(85.5%) ※前年度比85.6%	47.6	45.5	6.6	6.9	18.1	16.1	市を跨ぐ利用者は221人/月と想定され、広域的な路線として役割を果たしていると考えられる。また、通勤、通学や安城更生病院、刈谷豊田総合病院への通院、市外への買い物のための利用が多いと考えられる。また、刈谷市東部から安城更生病院への通院利用がある。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄バス安城線、刈谷市公共施設連絡バス、あんくるバス(北部線、循環線、安祥線、高棚線)	バスロケーションシステムによる運行状況(遅れ等)の把握や乗降調査による交通需要の把握を行う。また、公共交通に関する知識の向上や利用に対する意識の醸成に向け、モビリティ・マネジメントのための資料を作成し、乗り方教室等の利用促進策を講じる。刈谷市では、OD調査等で利用実態を把握し、実態に即した路線改編等の検討を行う。
09刈谷・安城・碧南・西尾	安城市	名鉄バス(株)	20 あんくるバス(西部線) 新安城駅～新安城駅	利用促進のためのチラシ等を配布する際に、おすすめプランを掲載するなど、できるだけ分かりやすく気軽にバスを使ってもらえるように情報提供を行った。また、Googleマップの経路検索に対応し、利便性の向上を図った。	A 台風19号による暴風雨のため4便が運休となったが、それ以外は運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	B 目標：59,000 実績：50,105(84.9%) ※前年度比82.1%	44.8	40.0	5.8	6.9	17.0	14.5	市を跨ぐ利用者は242人/月と想定され、広域的な路線として役割を果たしていると考えられる。また、通勤、通学や安城更生病院、刈谷豊田総合病院への通院、市外への買い物のための利用が多いと考えられる。また、刈谷市東部から安城更生病院への通院利用がある。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄バス安城線、刈谷市公共施設連絡バス、あんくるバス(北部線、循環線、安祥線、高棚線)	バスロケーションシステムによる運行状況(遅れ等)の把握や乗降調査による交通需要の把握を行う。また、公共交通に関する知識の向上や利用に対する意識の醸成に向け、モビリティ・マネジメントのための資料を作成し、乗り方教室等の利用促進策を講じる。刈谷市では、OD調査等で利用実態を把握し、実態に即した路線改編等の検討を行う。
09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通(株)	名鉄東部交通(株)	46 一色 西尾市民病院～一色町公民館	沿線地域での催事及び道路状況の情報収集に努め、定時運行の確保を図った。沿線の西尾市では高齢者向けに公共交通出前講座、通学定期補助、市内の均一運賃化、佐久島渡船との接続強化などを実施し、バスの利便性向上に努めた。	A 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令を受け、4月下旬から5月末まで、平日の休日ダイヤ運転を実施した。	B 目標：95,628 実績：76,786(80.3%) ※前年度比87.8%	30.5 28.0	29.3 16.4	2.6 1.6	11.3 10.3	60.2	43.7	西尾市と旧一色町を跨ぐ利用者は、月平均6,047人で全体の94.5%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。通勤通学や通院利用のほか、西尾駅から当系統を利用して佐久島へ向かう観光客や一色地区と西尾市中心部を跨る利用が多く見られる。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄東部交通バス(寺津線、平坂・中畑線)、(西尾市)六万石くるりんバス、(西尾市)いっちゃんバス	定時運行の確保や需要に合ったダイヤとするため、自治体との情報交換を密に行う。また、沿線の西尾市では、イベント・交通安全運動と連携した乗り方教室や、個人のおでかけに合わせたマイ時刻表の作成や乗り方案内等の出前講座の実施のほか、多言語対応のパンフレットを作成・配布する。

【交通圏】

09刈谷・安城・碧南・西尾

09刈谷・安城・碧南・西尾

10豊田

10豊田

10豊田

①補助対象事業者等	②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)		
					【計画目標指標：利用者数】 A：達成 B：未達成 C：目標の半数にも満たず	輸送量(人)		収支率(%)						
						R2計画	R2実績	(平均乗車回数)	(運行回数)	R1実績			R2実績	
運営主体	運行事業者	系統名	運行区間											
名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	12 ふれんどバス①	吉良高校～碧南駅	沿線高校の利便性向上のため、鉄道との乗り継ぎを考慮したダイヤ改正を行った。また、沿線市では高齢者を対象とした公共交通に関する出前講座の実施、Googleマップへの路線情報反映、沿線高校へバス通学を促すチラシの配布等を実施した。	A 台風19号による暴風雨のため16便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B 目標：181,300 実績：165,273(91.2%) ※前年度比93.7% ふれんどバス2系統合算前年度比104.2% 新型コロナウイルスの影響を受けて、利用者が減少したものの、高校への通学目的での利用が多かった。	44.1	50.0	4.0	12.4	36.2	26.2	市町域を跨ぐ利用者は、月平均13,200人で全体の93.0%を占める。利用の内訳は通学定期49.8%、定期外40.2%の順に多い。沿線の高校への通学利用のほか、碧南駅を利用していると考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、平坂・中畑線)、(西尾市)デマンド乗合タクシーいこまいかー	通勤・通学時間帯に利用が集中することから、令和2年10月、ICカードを導入するとともに、バスロケーションシステムの提供を開始し、乗降時間の短縮と利便性の向上を図る。
名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	13 ふれんどバス②	吉良高校～碧南高校	沿線高校の利便性向上のため、鉄道との乗り継ぎを考慮したダイヤ改正を行った。また、沿線市では高齢者を対象とした公共交通に関する出前講座の実施、Googleマップへの路線情報反映、沿線高校へバス通学を促すチラシの配布等を実施した。	A 台風19号による暴風雨のため7便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	A 目標：157,900 実績：178,568(113.1%) ※前年度比116.3% ふれんどバス2系統合算前年度比104.2% 碧南高校までの延伸により、通学時の利便性が向上したことから、通勤・通学時間帯の利用が増加したと考えられる。通勤・通学利用者の更なる大幅な増加は見込めず、昼間帯の利用促進が重要。	38.6	49.2	4.9	9.4	34.0	35.2	市町域を跨ぐ利用者は、月平均12,090人で全体の87%を占める。利用の内訳は通学定期60.5%、定期外29.8%の順に多い。地域外からの沿線高校への通学利用の他、沿線地域の住民が鉄道を利用する際の利用が見られる。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、平坂・中畑線)、(西尾市)デマンド乗合タクシーいこまいかー	通勤・通学時間帯に利用が集中することから、令和2年10月、ICカードを導入するとともに、バスロケーションシステムの提供を開始し、乗降時間の短縮と利便性の向上を図る。
名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	03 矢並	豊田市～足助	関係市と協力し、時刻表・バスマップの作成、バスロケーションシステムの提供、乗換検索サイトへの情報提供、また、ノンステップバスへの更新等により利用者の利便性向上に努めた。また、沿線市のバスマップ等にも本路線の情報を掲載し利用促進に努めた。	A 雨量規制による通行止で15本の運休、及び台風19号による暴風雨のため16便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	A 目標：121,900 実績：137,578(112.9%) ※前年度比115.4% 豊田市から鞍ヶ池東までの途中系統を令和2年6月1日ダイヤ改正で減便したことにより、本系統に利用者が流入し、定期外及び通勤利用者が増え、全体でも増加した。	51.9	53.1	4.5	11.8	45.7	45.9	豊田市と旧足助町を跨ぐ利用者は、月平均1,680人で全体の15%を占める。その内訳は、現金・ICSF(定期以外)55.4%、通学定期35.7%の順に多い。鉄道駅や中心市街地部への利用が大部分と考える。通学利用の比率が高く、豊田市中心部から足助地区への通学利用も多い。 《地域的・フィーダー的系統》 おいでんバス(旭・足助線、稲武・足助線、さなげ・足助線)	競合関係にある他路線との役割分担を明確にした上で、生活路線と観光路線の性格を併せ持つことを念頭に、利用実態に合わせた運行計画・利用促進を行う。また、高齢者用定期券ゴールド・シルバーバスのPRを積極的に実施し、昼間帯の利用促進を図る。
豊田市	名鉄バス(株)	17 おいでんバス(旭・豊田線)	小渡～豊田市 【公有民営方式車両購入費国庫補助金の交付対象】(1台)	交通系共通ICカードのODデータ取得による利用実態の把握と沿線やなでの飲み物サービスや、1日乗車券の販売を実施した。また、「広瀬」バス停での乗り継ぎを考慮した他路線にダイヤ改正を検討した。	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B 目標：91,817 実績：77,248(84.1%) ※前年度比80.9% 令和2年6月以降の利用者は回復傾向にあるものの、他路線と比較すると回復率が低い。在宅勤務の普及による通勤利用客の減少や沿線の観光地への外出機会の減少が要因の一つとして考えられる。	33.7	27.2	2.5	10.9	26.6	14.1	豊田市と旧旭町を跨ぐ利用者は、月平均930人で全体の11.7%と低い数値にとどまっているものの、市郊外から市中心部への通勤・通学手段として重要な役割を果たしている。また、広瀬バス停で乗降する利用者も一定数あり、バスを乗り継ぐ利用者がいると思われる。 《地域的・フィーダー的系統》 旭地域バス、小原地域バス、石野地域バス、藤岡地域バス	本路線は様々な観光施設や豊かな自然環境を有する地域を運行しており、こうした環境を生かした利用促進策を講じる必要がある。 新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しながら、令和2年度の取組でもある、沿線広瀬やなでの飲み物サービスの実施や1日乗車券の販売などの利用促進策を検討する。
豊田市	名鉄バス(株)	18 おいでんバス(小原・豊田線)	上仁木～豊田市 【公有民営方式車両購入費国庫補助金の交付対象】(2台)	交通系共通ICカードのODデータ取得による利用実態の把握。 また、1日乗車券の販売し、観光客のバス利用促進を図った。 その他、バス情報のGTFS化を行った。	A 補助対象期間の開始日から、運休や大幅な遅れもなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	B 目標：199,638 実績：157,711(79.0%) ※前年度比79.3% 令和2年6月以降の利用者数は回復傾向にあるものの、他路線と比較すると回復率が低い。通勤・通学時間帯は昨年度並みに回復しているものの、夜間帯の利用者の減少が見られる。	80.0	63.8	5.5	11.6	51.5	31.7	豊田市と旧小原村を跨ぐ利用者は、月平均1,922人で全体の12.8%と低い数値にとどまっているものの、加茂丘高校～四郷間の利用が非常に多く、通勤・通学手段だけでなく鉄道への乗継としても重要な役割を果たしている。 《地域的・フィーダー的系統》 小原地域バス、藤岡地域バス	上仁木～加茂丘高校間は利用者が少なく、平日では日中時、休日では1日通して利用者が少ないため、鉄道駅への接続(愛知環状鉄道梅坪駅)と四郷地区区画整理に対応した経路の検討を行う。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しながら、令和2年度の取組でもある小原四季桜まつり期間中の増便や1日乗車券の販売などの利用促進策を検討する。